

<http://www.minamih.net/>



ハル君の涙

6月23日の5年生練習試合対愛宕戦。後半、南が2-0でリードしていた時、南のDFが相手の逆襲をいなしてGKのハル君へバックパスをしました。

ところが南のDFのすぐ後ろに相手FWがついてきていたのです。バックパスを奪われて失点してしまいました。

その失点をハル君は自分の責任と捉え、悔しくて泣いてしまったのです。

1 6・29 (土) 南NEWS NO22
3 考えてもらいました。どうしたら良かったのかと。結局は“man on: マノーン!”「後ろから来ているよというコーチングを誰かがしたら失点はなかったよね」ということになりました。コーチングの大切さを学びました。次に活かしてほしいです。

ハル君のコーチングはチーム一です。だから悔しかったのです。
by 南のアンパンマン

寺子屋での学び 5月18日 由井三図書室



○寺子屋の感想

6年 中居大洋君

昔は、こわいことを考えるんだな…と思った。

漢字で“流”や“民”などは、ふだん何気なく普通に使っている漢字なのに、字にはこんな意味があるんだなあ…と思い、勉強になりました。

“三間”や“三つの力”は、やっぱり大切だなあ…と思った。

ぼくも“ヒト”ではなく、ちゃんとした“人間”になろうと思います。

6年 村山 岳斗君

漢字の成り立ちにはこわいものや日常に関係がある成り立ちがある。

授業内容が面白かった。

5年 清水泰平君

ぼくは昨日の寺子屋で新しい事を学びました。

例えば、始まるの“始”という字です。それは、始の女(おんなへん)が、お母さんとは知らなくて、しかも、台が、お母さんが台の上で赤ちゃんを産んだとは知りませんでした。(それが人生の始まりです)

他にも市民の“民”という字です。その字のもとが“目をつぶす”という意味とは知らなくてびっくりしました。

また寺子屋をしてくれるとうれしいです。

みんながしっかり学んでくれたので嬉しいです。なぜ学ぶのかの“三つの力”，サッカー選手の“四つの力”，“三つの知の力”はみんなが幸せになるために必要な力です。毎日の努力で自分のものにしてくださいね。 by 南のアンパンマン

大洋君のノート

